



〔2021. 8. 31〕発行

園長 外館 昭良

砂場あそび



著者 ロバート・フルガム『人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ』という本があります。砂場遊びについて特化して書かれている本ではありませんが、この題目を読むと本の内容を想像できると思います。著者は本の中で「人間、どう生きるか、どのようにふるまい、どんな気持ちで日々を送ればいいのか、本当に知っていなくてはならないことを、わたしは全部残らず幼稚園で教わった。人生の知恵は大学院という山のとっぺんにあるのではなく、日曜学校の砂場に埋まっていたのである。」と書き記しています。ではどんなことが砂場に埋まっていたのでしょうか？

●何でもみんなで分け合うこと。 ●ずるをしないこと。 ●人をぶたないこと。 ●使ったものは必ず元の所に戻す事。 ●散らかしたら自分で片付ける事。 ●人のものに手を出さない事。 ●誰かを傷つけたら、ごめんなさいという事。 ●食事の前に手を洗う事。

などなど、著者はこの他にも8つ書き記していますが、このようなことを幼稚園で学んだ(砂場に埋まっていた)と書かれています。つまり、砂場では物の取り合いなど様々なトラブルが起きる場合がありますが、トラブルを対処する中で人間関係の基礎(倫理)を学ぶ機会があるという事ですね。さらに、砂場遊びにはお友だちと話し合って役割分担をして遊ぶことで『社会性』や『コミュニケーション能力』が高まったり、協力して遊ぶことで『協調性』が育ったり、砂を触る事で『手先が器用』になったり、立ったりしゃがんだりすることで足腰が鍛えられ『運動能力』が高まったり、砂で何を作るかを考えることで『創造力』が高まったりします。子ども達は、遊びの中で様々なことを学んでいるのですね。

－ 【 童謡まつりについて 】 －

帯広葵学園では、童謡唱歌をカリキュラムに位置付け年間を通して季節に合わせた童謡を歌っています。その発表の場として、本来であれば市民文化ホールなどで保護者の皆様に可愛い園児の歌声をお聞かせしてまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、インターネットを活用し発表の場とさせていただきます。皆様にはご不便をお掛け致しますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

